



施設案内　依存症回復支援施設 アルバ

株式会社ヒューマンアルバ

▼アクセス

・小田急小田原線　「生田」駅より徒歩5分
　→川崎駅より小田急線・JR南武線で約45分
　→横浜駅より東急東横線などで約1時間



アルバの社会復帰支援概要

依存症からの回復、及び回復後も見据えた、一気通貫のサービスを提供

サービス提供の流れ

住 居 → 回復支援 → 教 育 → 就労支援



依存症からの回復

- アルコール、ギャンブル、ネットゲームなどの依存症に対する回復プログラムを提供する通所施設および生活の場を提供する宿舎
- 1～2年間程度の利用期間で依存症からの回復を目指す



依存症回復後の、社会復帰

- 依存症から回復後、就労を通じて社会復帰するための支援サービスを提供する事業所
- 半年～1年の通所期間を通じて、次の就労環境へと移行していく

アルバの提供する４サービス

専門プログラムとトレーナーを揃え、
社会復帰に必要な４機能の一貫した回復施設

回復支援

- 以下プログラムを、少人数(10～20名)で1～2年間かけて実施
  -1)アメリカ発祥の依存症回復プログラム「12ステップ」
  -2)当社顧問・依存治療の著名人らが開発「SMARPP(スマープ)」

住居支援

- 遠方からの通所では回復が難しく、近隣にお住まいを希望される方に対して、住居のご相談にのります。

教育支援

- 依存症からの回復後も安定した生活を送るためのプログラムを実施
  - 対人コミュニケーション等

就労支援

- 当施設でのプログラムを受講しながら、以下の就労支援を実現
  - 職務経歴書の書き方レクチャー
  - 面接トレーニング
  - 就労先企業の紹介 etc…

週間スケジュール（通所）

スケジュール	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
～10:00	開所	開所	開所	開所	開所	開所
10:00～12:00	回復プログラム（SMARPP*1）	回復プログラム（12 *2）	回復プログラム（SMARPP*1）	レクリエーション*3	回復プログラム（SMARPP*1）	回復プログラム（SMARPP*1）
12:00～13:30	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食
13:30～15:00	テーマミーティング	回復プログラム（12 *2）	レクリエーション*3	テーマミーティング	回復プログラム（12 *2）	回復プログラム（12 *2）
15:00～15:30	休憩・清掃	休憩・清掃	休憩・清掃	休憩・清掃	休憩・清掃	休憩・清掃
15:30～16:00	クロージングミーティング	クロージングミーティング	クロージングミーティング	クロージングミーティング	クロージングミーティング	クロージングミーティング
16:00～17:00	セルフケア	セルフケア	セルフケア	セルフケア	セルフケア	セルフケア
17:00	解散	解散	解散	解散	解散	解散

*1　SMARPP：「Serigaya Methamphetamine Relapse Prevention Program(せりがや覚せい剤依存再発防止プログラム)」の略称。当施設では、依存症全般の回復プログラムとして提供する

*2　12：依存症回復プログラム「12ステップ」の略称

*3　**レクリエーション**：卓球・フットサル等のスポーツや、映画鑑賞・キャンプ・バーベキュー等を通じて、アルコール・薬物・ギャンブル等に代わる新しいストレス対処法を見つけるプログラム

※昼食の提供はございません（各自でご準備いただきます）

依存症回復プログラム紹介①

依存症先進国・アメリカを中心に成果を上げている カウンセリング・プログラム
「12ステップ」

概要

- 当事者視点や当事者体験から導かれた思考プロセス等を取り入れながら、自己の抱えている問題を振り返り、それらの理解・解決をはかる (※参加者の宗教観・信仰の有無は特に問わない)
- 回復のための目標を3段階に分け、それを達成するためのプロセスを12のステップに定義、段階を踏みながら1～2年間かけて当施設内で実施



- ✓ 第1の目標(問題のセクション)：問題は何かを知る(ステップ1)
- ✓ 第2の目標(解決のセクション) ：問題の解決策は何かを知る(ステップ2)
- ✓ 第3の、そして最後の目標(回復のセクション)：解決策を手に入れるために必要な行動を実行する(ステップ3～12)

依存症回復プログラム紹介②

「認知行動療法」×「スキーマ療法」で 継続的な治療・回復をめざす
“SMARPP”(スマープ)



「SMARPP」は、薬物(覚せい剤)依存の再発防止プログラムとしてせりがや病院(現・神奈川県立精神医療センター)で開発、実績を積み、全国各地の医療機関・リハビリ施設をはじめ、刑務所などの矯正施設でも同プログラムをベースとした実践が行われている

- 当社顧問や依存症治療に携わる著名な研究者・実践者らが認知行動療法とスキーマ療法を組合わせて開発した「SMARPP」の実践用テキスト「薬物離脱ワークブック」を使用、当施設では依存症全般に応用させて、その内容を学ぶ

※認知行動療法とは？

「認知」（＝事実の受け取り方・ものの考え方）に働きかけ、こころのストレスを軽減させていく治療法で、**日々の生活における具体的な困りごとの解決や軽減**に対して効果的

※スキーマ療法とは？

認知行動療法の発展形（認知行動療法では対処しきれない問題への治療方法）
認知の中でも、より深いレベルにあるスキーマ(認知構造）に焦点を当てる治療法で、今まで生きてきた中で抱えてきた**自分の核となる「価値観」を認識し、それを変えていく**ことに効果的

料金体系

内訳	料金
通所施設（依存症回復プログラム）	住民税**課税**世帯は 一部自己負担あり*1
（近隣にアパート借りる場合）目安賃料	月額40,000円 ~50,000円
（近隣にアパート借りる場合） 食費、水道光熱費	実費負担
交通費	実費負担

*1：当事業所は、障害者総合支援法に基づく自立訓練（通所型生活訓練）の障害福祉サービス事業者として、川崎市から指定を受けております。市に障害福祉サービスの利用申請をしていただくことで、収入に応じ利用料の減免を受けることができますが、具体的な料金についてはご本人の収入状況により変わるため(生活保護受給世帯および住民税非課税世帯は自己負担なし、住民税課税世帯は所得により9,300～37,200円の上限額内で自己負担あり)、詳細についてはご相談ください。